

エレン・ワタダ中尉のイラク派遣命令に対する拒否声明



拒否声明を読み上げるワタダ中尉
(2006年6月6日・記録ビデオ作成時)

家族の皆さん、友人の皆さん、宗教界の皆さん、報道記者の皆さん、そして我が同胞のアメリカ人の皆さん—今日はわざわざお出で頂いて有難うございます。

私の名前はエレン・ワタダです。米国陸軍中尉で、軍務について3年になります。

重大な不正義に反対して意見を述べることは、米国陸軍の将校としての私の義務であります。私の道義的かつ法的義務は憲法に対してであり、違法な命令を下す人たちにではありません。私が今日こうして皆さんの前に立ちましたのは、同胞兵士たち、アメリカ人民、そして声なき無実のイラク人たちに奉仕し彼等を守るのが私の任務であるからです。

イラクでの戦争は道義上の悪であるだけでなくアメリカの法に対する恐るべき侵犯であると云うのが、この国の軍隊に服務する将校としての私の結論であります。私は、抗議のために辞任を試みましたが、違法が明白である戦争に参加するよう強制されています。

違法行為に加担させる命令は違法行為と同様に不法であることには違いありませんから、私は、名誉と信義を重んじる将校として、その命令を拒否すべきであります。

イラクでの戦争は、権力分立による相互抑制と均衡を基本とする私達の民主主義体制を侵犯するものです。それは、また、憲法に基づいてアメリカの法となっている国際諸条約と国際諸協定をも侵害するものです。責任の所在を矮小化してなされるイラク人民に対する大量無差別虐殺と虐待は、残忍な道義上の不正義であるだけでなく陸軍自身の交戦法規にも反するものです。私がこれに加担することは、こうした戦争犯罪の共犯者になることでもあります。

これまで軍隊においては、通常では兵士たちが自分たちのために意見を述べ自分たちのために行動することが許されてきました。こうした時代はもう終わったのです。私は、自分の指揮官たちに私達の行動の大局的な諸問題を見るように訴えました。しかし、公正な扱いが受けられないのです。私の就任宣誓は、アメリカの法律と人民を擁護し防衛することです。今日、私は、違法な戦争のための不法な命令を拒否することによって、その宣誓を果たす次第であります。

皆さんに感謝します。

[以上]

以上、ワタダ声明の原文は、<http://thankyoult.live.radicaldesigns.org/content/view/22/>
記録ビデオは、<http://thankyoult.live.radicaldesigns.org/mmedia/statement.html>
なお、日本語は、これらの原文と記録ビデオを照合してダルマが翻訳した。